

「ビッグデータの研究とその活用ーものづくりやサービス等への展開」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて講演会を開催致します。
今回は産総研のビッグデータの研究とそのものづくりやサービス等への応用開発等の情報の紹介をさせて頂きます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

◆日時：平成26年12月17日（水）14：00～17：30

◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室

（名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階）

◆定員：35名

◆参加：協会会員及び公設機関等に属する方

※席に余裕がある場合は一般参加も受付いたします。（無料）

裏面申込書を FAX でお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

■講演会スケジュール：

14:00ー「ビッグデータ活用技術により実現する価値共有・共創・協働する社会に向けて」

産総研 サービス工学研究センター副研究センター長 本村陽一

サービス現場では顧客IDとひもづけられた購買履歴や行動履歴などのいわゆるビッグデータが日々集積され、これを活用することにも各方面からの注目が集まっている。本講演では、こうした人の行動記録として集められるビッグデータを活用する技術紹介を行う。また、ビッグデータや活用技術によって可能になる、提供者と利用者との間の価値共有・共創・協働を実現する取り組みや、それによる社会共有価値創出についても議論したい。

15:00ー「確率的ビッグデータ分析の実際とその活用事例」

産総研 サービス工学研究センター 大規模データモデリング研究チーム

研究員 櫻井瑛一

近年の情報産業の発展により、アンケートをはじめとしたデータが大量に集まるようになってきている。人々の中にはさまざまな異質な集団がおり、それを発見しそれらに有効な手法を適用してゆくことが求められている。本発表では、確率的潜在モデルとデータから理解されるデータ間の生成構造からみた、人や状況の異質性の事例を紹介する。

16:00-16:10 休憩

16:10ー「画像解析プラットフォーム Lavatube の紹介と衛星画像解析を始めとした応用事例」

産総研 情報エレクトロニクス分野 企画主幹（兼）知能システム研究部門

研究員 岩田健司

近年、カメラ映像を始めとする大量の情報を集取・集積することが可能となり、いわゆるビッグデータ時代を迎えている。このようなビッグデータを解析することで、価値のある有用な情報を抽出することができる。中でも画像データは構造化されたデータと比べ情報量が多く、そのデータを解析するアプローチも工業、環境、医療、防犯などの、対象や目的により異なってくるため、アルゴリズムの選択や組み合わせに専門知識を必要としている。このような処理の手順を簡易に記述し、開発・実行する画像解析プラットフォーム Lavatube を開発している。アイコンで示される様々な画像処理の機能を接続することで簡単に構築でき、その場で処理結果を表示しながら、パラメータを調整が可能で、効率的に開発を進めることができる。Lavatube の応用事例として、監視カメラ映像解析や、医療画像解析、さらにクラウドコンピューティングを活用した、衛星画像解析の事例を紹介する。

17:10ー 総合討論、名刺交換

（17:30 終了予定）

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局（名古屋駅前イノベーションハブ内）

TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

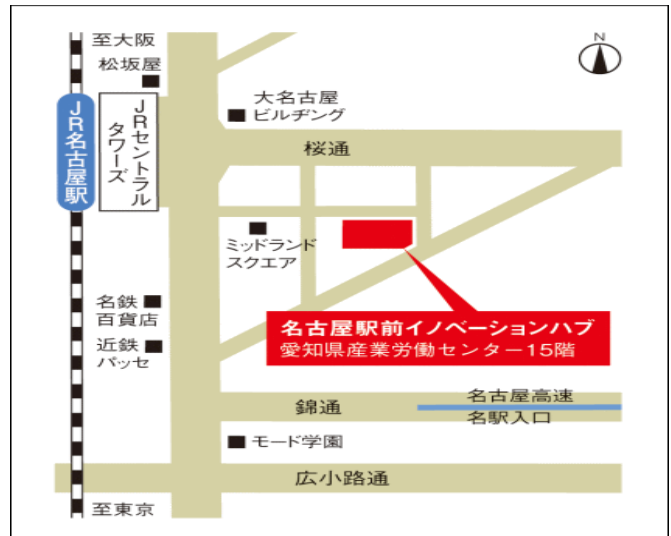
TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所 : 〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-38

愛知県産業労働センター 15階
(ウインクあいち)

※ 名古屋駅より徒歩5分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成26年度 第2回研究会

「ビッグデータの研究とその活用ーものづくりやサービス等への展開」

(平成26年12月17日)

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL ()	—

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行ないません。